

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 8 月 16 日 更新

事務事業名		都市公園施設修繕事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政 策	4	生活環境の健康				所属部	都市建設部	課長名	坂本 強	
	施 策	18	住環境の充実				所属課	都市計画課	担当者名	大塚 裕貴	
	施策の柱	58	公園など身近な住環境の整備とみどりの保全				所属班	都市計画班	(内線)	5264	
予算科目		会計一般	款 8	項 4	目 2	事業連番 10137	根拠法令	都市計画法・都市公園法・都市公園条例・施行規則			
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	都市公園に設置している遊具、施設等の改修や修繕による維持補修、公園内の樹木管理（剪定等）、公園内遊具の定期点検等を主に行う事業である。 公園に設置された施設については、年数の経過と共に老朽化や故障が発生してくるため、随時修繕をすることで適正な維持に努めている。また、委託による遊具定期点検も実施しており、遊具の状態把握及び予防保全等の補修も併せて行っている。施設の老朽化も進んできているため修繕対象は増加傾向にある。いたずらによる破損等もある。
【業務の流れ】	現地確認・積算・業者選定・契約・打合せ・検査・支払い
【主な予算費目】	需用費（消耗品費、施設修繕費等）、委託料、工事請負費 など
【意見や要望】	開発により年々公園数が増えており、修繕対応が必要な施設も増加傾向である。すぐに修繕の対応ができない場合などもあり、そのような際は使用禁止措置等をとることとなるが、それが長引くと公園利用者に迷惑をかけることとなるため、早期の修繕を望む声もあがる。 また、公園内樹木の高齢木化・大径木化の進行に伴い隣接地への影響（見通しの阻害、倒木・落枝の危険性、景観の悪化等）が顕在化しており、区や住民から伐採等の要望が多数あがっている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
各公園の遊具修繕、施設(水道・トイレ・照明灯・外柵等)修繕、樹木の剪定、遊具の定期点検等を適切に行い、安全で身近な公園として施設整備及びみどりの保全を行った。		各公園の遊具修繕、施設(水道・トイレ・照明灯・外柵等)修繕、樹木の剪定、遊具の定期点検等	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア: 修繕公園数	箇所	公園樹木伐採の対象面積増による委託料の増	
イ:			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等利用者	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
	箇所	→ ア: 全公園数	
		イ:	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
適正に管理できる安全快適に利用できる	件	→ ア: 即時の修繕対応等ができなかった件数	
		イ:	
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠 即時の修繕等対応ができなかった件数は管理状況を示す指標であるため			総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費の推移											
		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込	
① 活動指標		箇所 アイ	74	73	65	70	65	65	65	65	
② 対象指標		箇所 アイ	214	220	218	230	220	222	224	226	
③ 成果指標		件 アイ	5	17	4	3	4	4	4	4	
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	14,599	20,878	17,090	16,756	18,758	18,000	18,000	18,000
	(A) 事業費計	千円	14,599	20,878	17,090	16,756	18,758	18,000	18,000	18,000	
		(A)のうち指定経費	千円	11	21	27	18	34	24	24	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	11	21	24	15	21	21	21	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	4	4	4	3	4	4	4	4
		延べ業務時間	時間	1,390	1,290	750	1,400	750	750	750	750
		(B)人件費計	千円	5,434	4,909	2,988	5,098	2,988	2,988	2,988	2,988
トータルコスト(A)+(B)		千円	20,033	25,787	20,078	21,854	21,746	20,988	20,988	20,988	

事務事業名	都市公園施設修繕事業	所属部	都市建設部	所属課	都市計画課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5年度の後評価、ただし複数年度事業は 5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 予算の範囲内での維持補修等を行っており目標達成はできると考える
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 限られた予算・人員でおこなっており、向上余地はない
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 公園施設全般の修繕等に特化した事業であり類似事業はない
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 公園数は増加しており、施設の老朽化も顕著であるため、事業費は年々増加傾向にある。 予防保全などに努め、現状を維持していくものとする。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の人件費である
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 公園は誰もが利用可能であり、公平性は保たれている
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 市が管理する施設であり役割分担は適正である

3 評価結果の総括（CHECK）

修繕や遊具の定期点検等を適切に行なった。今後も遊具点検の結果による予防保全等に努めていく。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								